



# きんかんだより

金沢少年鑑別所広報誌第30号

## 公開シンポジウムを開催しました！！

10月15日（土）、石川県立図書館（百万石ビブリオバウム）にて「**学校で問題行動のある子どもと向き合う～暴力、わいせつ、盗みは子どものSOS?～**」をテーマに、当所主催の公開シンポジウムを開催しました。

今回は主に教育・福祉関係者に御参加いただき、パネリストとして当所所長佐藤、考査統括杉木のほか、北陸唯一の少年院である湖南学院長山下嘉一氏をお招きし「**問題行動のメカニズム**」、「**問題行動のある子どもとの関わり方**」、「**関係機関との連携**」について、メインテーマに沿って様々な視点からお話をさせていただきました。

参加者からも御質問・御意見をいただくことができ、大変有意義なシンポジウムとなりました。



会場の様子

### 支援の前にニーズを明らかにする

「あなたのことを思って。」では、  
「よし、分かった。」とはならない

対象者の「困り感」を  
引き出すことが支援の第一歩

「あなたの困っていることを一緒に解決しよう。」



シンポジウムで使用した  
資料の一部です！！

マスコットキャラクターきんかん君

地域の皆様のお役に立てるよう、今後も今回のようなイベントを企画・実施してこうと思っております。その際はふるって御参加ください。



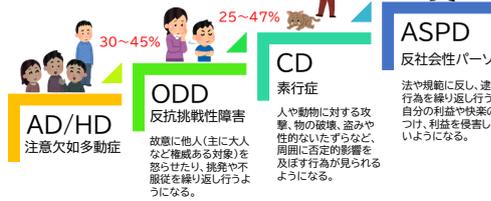
# きんかんだより



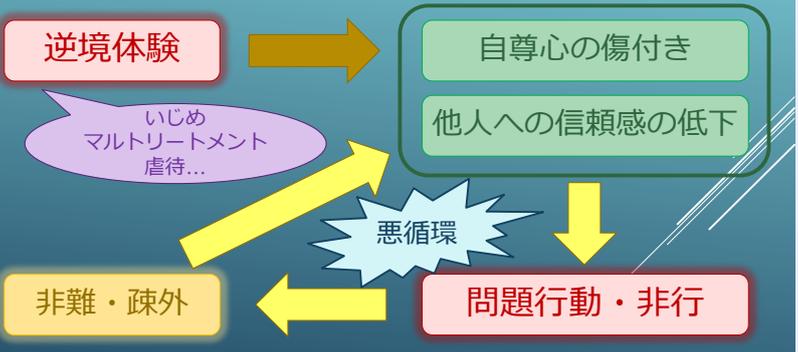
## 注意欠如多動症の二次障害

適切なケアを欠くと、重大な行動障害に移行することがある

DBD(Disruptive Behavior Disorder  
=破壊的行動障害)のマーチ



自分を大切にできない子が、他人を大切にすることは難しい



## 佐藤からのお話 連携



これらのパワーポイントスライドは、公開シンポジウムで使用した資料の一部です。

参加者アンケートから（一部抜粋。意見提出者が特定できないように要旨を変えないまま一部加工しています。）

- 子どもの心理・行動のメカニズムをかみくだいて話していただけたので、とても分かりやすかった。
- 非行を起こしたからといって、人格まで悪い（悪い子）と考えることは適切ではないことに気づいた。
- 生徒の問題行動を自分の指導力不足に帰因させて、自分を責めすぎないようにしようと思った。



公開シンポジウムの様子や資料を見て当所の取組に興味や関心を持たれた方、「きんかんだより」を読まれた方、講演・研修等の講師派遣の御依頼、個別事例の御相談お待ちしております。

私たちも皆様と「連携」していく関係機関の一つです。教育関係の方も福祉関係の方も保護者の方も「困っている子ども」を支援していくために一緒になって取り組んでいきましょう！

相談専用ダイヤル：076-222-4525  
(平日9:00~17:00)